

GOLF BAG

Patent Number: JP11137747

Publication date: 1999-05-25

Inventor(s): NISHIMURA TOSHINORI; SUZUKI MITSUNARI; KANBE NOBUHIKO

Applicant(s): YOKOHAMA RUBBER CO LTD:THE

Requested Patent: JP11137747

Application Number: JP19970302577 19971105

Priority Number(s):

IPC Classification: A63B55/00

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily find and take out a desired club during the play, and to easily carry a bag.

SOLUTION: In a golf bag comprising the partitions 7 mounted in a bottomed cylindrical bag main body 2, and comprising the storing cases 8A, 8B, 8C in which the wood golf clubs and the iron golf clubs are respectively stored under a condition that they are divided by the partitions 7, the bottom-up members 9 of which the heights are adjustable, are mounted in the storing cases 8B, 8C for the iron golf clubs.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-137747

(43)公開日 平成11年(1999)5月25日

(51)IntCl[®]

A 6 3 B 55/00

識別記号

F I

A 6 3 B 55/00

B

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全4頁)

(21)出願番号 特願平9-302577

(22)出願日 平成9年(1997)11月5日

(71)出願人 000006714

横浜ゴム株式会社

東京都港区新橋5丁目36番11号

(72)発明者 西村 俊則

神奈川県平塚市追分2番1号 横浜ゴム株式会社平塚製造所内

(72)発明者 鈴木 翔成

東京都港区新橋5丁目36番11号 横浜ゴム株式会社内

(72)発明者 神戸 信彦

東京都港区新橋5丁目36番11号 横浜ゴム株式会社内

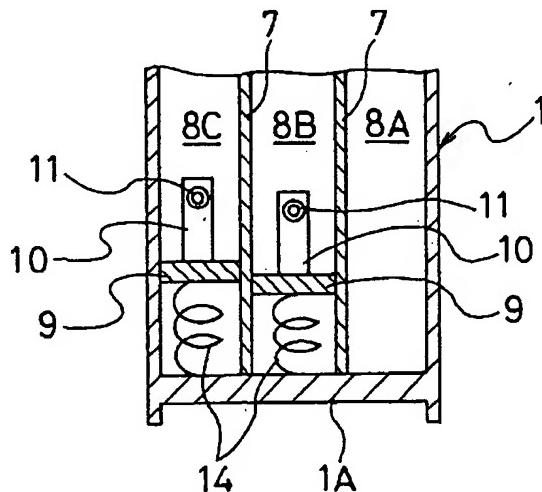
(74)代理人 弁理士 小川 信一 (外2名)

(54)【発明の名称】 ゴルフバッグ

(57)【要約】

【課題】プレー中に所望のクラブを見つけ易くかつ抜き取り易くすると共に、運搬も行い易くする。

【解決手段】有底筒状のバッグ本体1内に仕切り7を設け、その仕切り7によりウッドゴルフクラブとアイアンゴルフクラブとをそれぞれ分けて収容する収容室8 A, 8 B, 8 Cを設けたゴルフバッグにおいて、アイアンゴルフクラブの収容室8 B, 8 C内に高さ位置を調整可能な底上げ部材9を配設する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 有底筒状のバッグ本体内に仕切りを設け、該仕切りによりウッドゴルフクラブとアイアンゴルフクラブとをそれぞれ分けて収容する収容室を設けたゴルフバッグにおいて、前記アイアンゴルフクラブの収容室内に高さ位置を調整可能な底上げ部材を配設したゴルフバッグ。

【請求項2】 前記アイアンゴルフクラブの収容室を仕切りにより少なくともロング側のアイアンゴルフクラブとショート側のアイアンゴルフクラブを収容する2つの収容室に区分し、その収容室内に高さ位置を調整可能な底上げ部材をそれぞれ配設した請求項1に記載のゴルフバッグ。

【請求項3】 前記2つの収容室に配設した両底上げ部材を一体的に形成し、かつ前記ショート側のアイアンゴルフクラブの収容室に配設した底上げ部材の方が前記ロング側のアイアンゴルフクラブの収容室に配設した底上げ部材よりも高くなるように段差を設けた請求項2に記載のゴルフバッグ。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、ゴルフバッグに関し、更に詳しくは、プレー中に所望のクラブを見つけ易くかつ抜き取り易くすると共に、運搬も行い易いようにしたゴルフバッグに関する。

【0002】

【従来の技術】 一般に、コースにおいてプレーする際にゴルフバックにウッドゴルフクラブやアイアンゴルフクラブ、ピッティングウェッジ、パター等の一連のゴルフクラブを収容して持ち運ぶが、そのプレーの最中に、ゴルフバッグに収容された一連のゴルフクラブの中から所望のクラブを見つけて抜き出す際、その一連のクラブのヘッドの高さがある程度揃っている方が所望のクラブを見つけ易く、また抜き取り易い。

【0003】 ところで、近年、ウッドゴルフクラブにあっては、飛距離の増大や打ち易さ等の追求により、クラブシャフトが長尺化する傾向にある。過去10年の間に、43インチから46インチへと3インチの長尺化が進んでいる。そのため、アイアンゴルフクラブのクラブシャフトとの差がより大きくなり、ショートアイアン側では10インチ以上の差が生じ、所望のクラブを見つけ難く、かつ抜き取り難くなる傾向にある。

【0004】 そこで、一連のクラブのヘッドの高さをある程度揃えるようにゴルフバックを構成することが考えられるが、そのように高く揃える構成にすると、運搬時にバッグの重心が高くなるため、運び難くなる欠点が生じる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 本発明の目的は、プレー中に所望のクラブを見つけ易くかつ抜き取り易くする

と共に、運搬も行い易いゴルフバッグを提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成する本発明は、有底筒状のバッグ本体内に仕切りを設け、該仕切りによりウッドゴルフクラブとアイアンゴルフクラブとをそれぞれ分けて収容する収容室を設けたゴルフバッグにおいて、前記アイアンゴルフクラブの収容室内に高さ位置を調整可能な底上げ部材を配設したことを特徴とする。

【0007】 このようにアイアンゴルフクラブの収容室内に底上げ部材を高さ位置調整可能に設けることにより、プレー時には底上げ部材を高くして底上げの状態にして、アイアンゴルフクラブのヘッドを高くし、収容された一連のゴルフクラブのヘッドの高さを揃えることができる。そのため、所望のクラブが見つけ易くなり、また抜き取り易くなる。また、運搬する時には、底上げ部材をバッグ本体の底まで下げることで、バッグの重心を低くすることができるため、運び難くなることがない。

【0008】

【発明の実施形態】 以下、本発明を添付の図面を参照しながら詳細に説明する。図1は本発明のゴルフバッグの一例を示す。1はゴルフクラブを収容する有底筒状のバッグ本体、2、3、4はバッグ本体1の前面及び側面にそれぞれ設けられた小物を入れる収納部である。5、6はバッグ本体1の後面に取り付けられた肩掛けベルトと把手である。

【0009】 バッグ本体1内には図2、3に示すように、板状の2枚の仕切り7が設けられ、その仕切り7によりバッグ本体1内の空間部を肩掛けベルト5が取り付けられた後側から順に、ウッドゴルフクラブ用の収容室8A、ロング側のアイアンゴルフクラブの収容室8B、及びショート側のアイアンゴルフクラブの収容室8Cに区分し、ゴルフクラブをそれぞれ区分けして収容できるようになっている。

【0010】 アイアンゴルフクラブの各収容室8B、8C内の底側には、板状の底上げ部材9がそれぞれ配設されている。各底上げ部材9の離間した2か所の縁部(バッグ本体1に面する縁部)にはブラケット10がバッグ本体1の側面に沿って垂直に立設されている。各ブラケット10の上部に形成された貫通孔aの内側面にはそれぞれナット11が固定されている。

【0011】 各ブラケット10が対面するバッグ本体1の下部には、上下に延在するスリット12がそれぞれ形成され、そのスリット12に外側からノブ付きボルト13が挿通され、上記貫通孔aを通ってナット11に螺合している。ノブ付きボルト13は収納部内に位置し、外から見えないようにになっている。このノブ付きボルト13を締めることにより、ブラケット10がバッグ本体1に固定され、それによりブラケット10に固定された底

上げ部材9がバッグ本体1に固定される。また、ノブ付きボルト13を弛めて底上げ部材9の固定を解除した後、そのノブ付きボルト13をスリット12に沿って上下に移動させることにより、底上げ部材9の高さ位置を調整できるようにしている。

【0012】また、底上げ部材9とバッグ本体1の底部1Aとの間にはバネ14がそれぞれ介設され、ノブ付きボルト13を弛めた際に、底上げ部材9が各収容室8B, 8Cの所定の高さ位置（収容されたアイアンゴルフクラブのヘッドが収容室8Aに収容されたウッドゴルフクラブのヘッドと略揃う高さ位置）までバネ14の力によりそれぞれ達するようにしている。

【0013】このように本発明では、アイアンゴルフクラブの収容室8A, 8B内に高さ位置を調整可能な底上げ部材9を配置するので、コースにおいてプレーする際には、図3に示すように各底上げ部材9を上方に位置させ、シャフト長さが短いアイアンゴルフクラブのヘッドをシャフト長さが長いウッドゴルフクラブのヘッドの高さに近づけることができる。従って、ゴルフバッグに収容された一連のゴルフクラブのヘッドの高さをある程度揃った状態にすることができるので、所望のクラブを見つけ易く、かつ抜き取り易くすることができる。また、運搬時には、底上げ部材9を図4の2点鎖線で示すようにバッグ本体1の底部1Aまで下げるができるので、バッグの重心が低くなり、運び易くなる。

【0014】本発明において、底上げ部材9を構成する材料としては、収容されるゴルフクラブを支持することができるものであれば特に限定されないが、重量の点から硬質プラスチックを好ましく用いることができる。底上げ部材9は上記実施形態では収容室8A, 8B内にそれぞれ独立して設けたが、図5に示すように、連結部9aを介して一体的に形成するようにしてもよい。その場合、ショート側のアイアンゴルフクラブの収容室8Cに配設される底上げ部材9Xの方がロング側のアイアンゴルフクラブの収容室8Bに用いられる底上げ部材9Yよりも高さ位置が高くなるように段差を設けた構成にすることができる。また、収容室8B, 8Cを区分する仕切り7には、連結部9aに対応した位置に上下に延在するスリットを形成するものとする。

【0015】また、上記実施形態では、バッグ本体1内をウッドゴルフクラブ用の収容室8A、ロング側のアイアンゴルフクラブの収容室8B、及びショート側のアイ

アンゴルフクラブの収容室8Cの3つに区分したが、本発明は、少なくともウッドゴルフクラブとアイアンゴルフクラブとの2つの収容室に分けたものであればよく、また、アイアンゴルフクラブの収容室を3つ以上の収容室に仕切るようとした構成のものであってもよい。

【0016】バネ14は上述した実施形態のように設けるのが好ましいが、必ずしも設けなくてもよい。本発明は、上記実施形態において、スリット12とボルト13を用いて底上げ部材9の高さ位置を調整するようにしたが、それに限定されず、底上げ部材9の高さ調整が可能であればいずれの態様であってもよいことは言うまでもない。

【0017】

【発明の効果】上述したように本発明は、有底筒状のバッグ本体内に仕切りを設け、該仕切りによりウッドゴルフクラブとアイアンゴルフクラブとをそれぞれ分けて収容する収容室を設けたゴルフバッグにおいて、アイアンゴルフクラブの収容室内に高さ位置を調整可能な底上げ部材を配設したので、プレー時には底上げ部材を底上げしてヘッドの高さを揃えることができるため、所望のクラブを見つけ易くかつ抜き取り易くすることができ、また、運搬時には底上げ部材を低くしてバッグの重心を低くすることができるため、運搬し易くすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のゴルフバッグの一例を示す側面図である。

【図2】図1のバック本体のみの拡大横断面図である。

【図3】図2のA-A矢視要部断面図である。

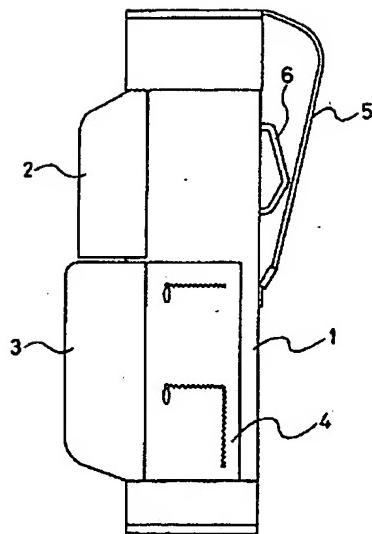
【図4】図2のB-B矢視要部断面図である。

【図5】底上げ部材の他の例を示し、(a)は平面図、(b)は(a)のC-C矢視断面図である。

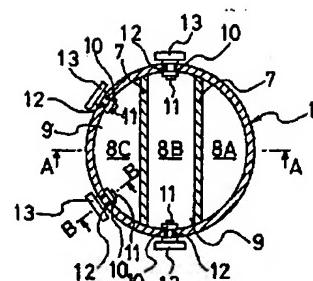
【符号の説明】

1 バッグ本体	2, 3, 4 収納体
5 肩掛けベルト	6 把手
7 仕切り	8A, 8B, 8C
収容室	
9 底上げ部材	9a 連結部
10 ブラケット	11 ナット
12 スリット	13 ノブ付きボルト
ト	
14 バネ	

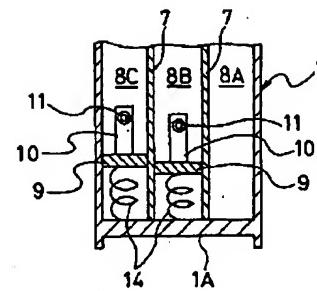
【図1】



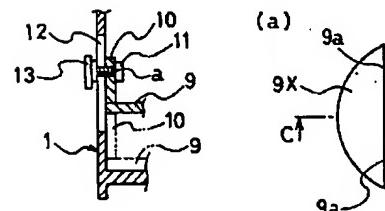
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

